

# CATを活用することによる 増悪や入院回数への影響

大久保内科呼吸器科クリニック  
小山美佐江、長田照子、穂坂真由美、  
大久保ひかり、濱利子、森田紋子、  
深澤一裕、大久保修一

# 背景

CAT(COPD Assessment Test)は簡便なQOLの評価ツールである。CATを外来受診毎に記入、振り返る事により、患者のQOLの評価のみではなく、患者自身が体調を把握でき、管理することに有用である可能性が考えられた。

# 目的

COPDの増悪予防にCATが有用か検討する。

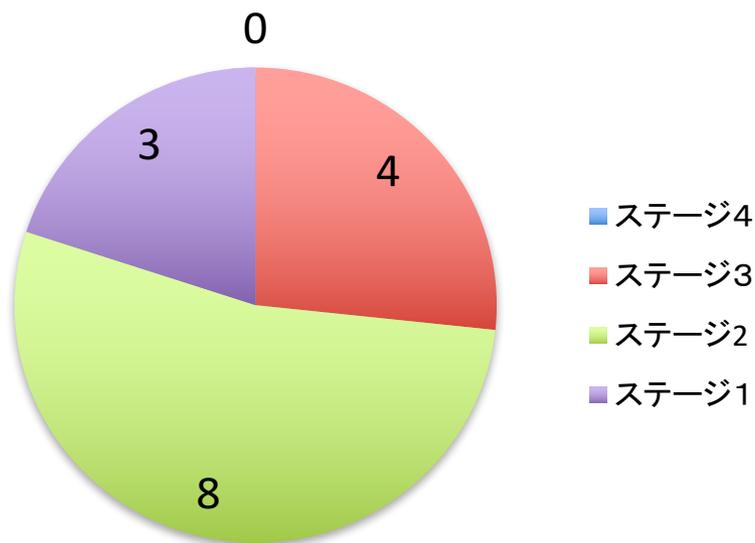
# 方法と対象

COPDの在宅酸素療法導入患者(HOT群)34人で受診毎にCAT評価を開始する前後の1年間の定期外受診数、入院回数を後ろ向きにカルテで調査した。

同時期にCAT評価を行いカルテ上で状況が確認できる非HOT導入患者(非HOT群)15人についても同様に調査した。(初回のCATが10点以上の患者)

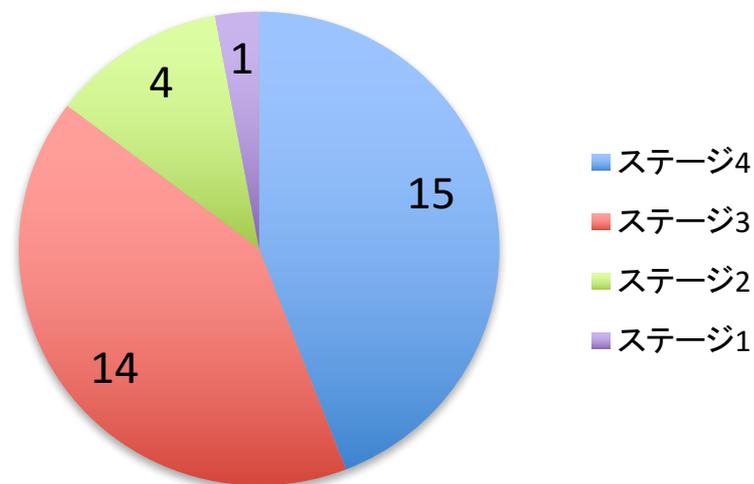
# 対象患者

	非HOT群	HOT群	有意差
人数(名)	15	34	—
男:女(名)	13:2	30:4	—
平均年齢(歳)	76.2	77.6	NS
平均喫煙指数	1026.7	1057.8	NS
%1秒量(平均)	59.4%	43.3%	p=0.028



非HOT群

ステージ分類はCOPD診断と治療のためのガイドライン第4版による

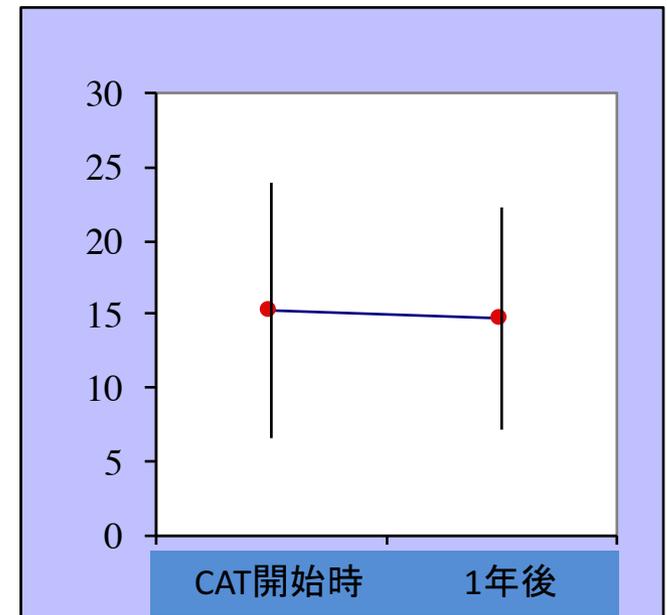


HOT群

# 非HOT群におけるCAT値の変化

	平均	標準偏差
CAT開始時	15.2	8.6
1年後	14.7	7.4

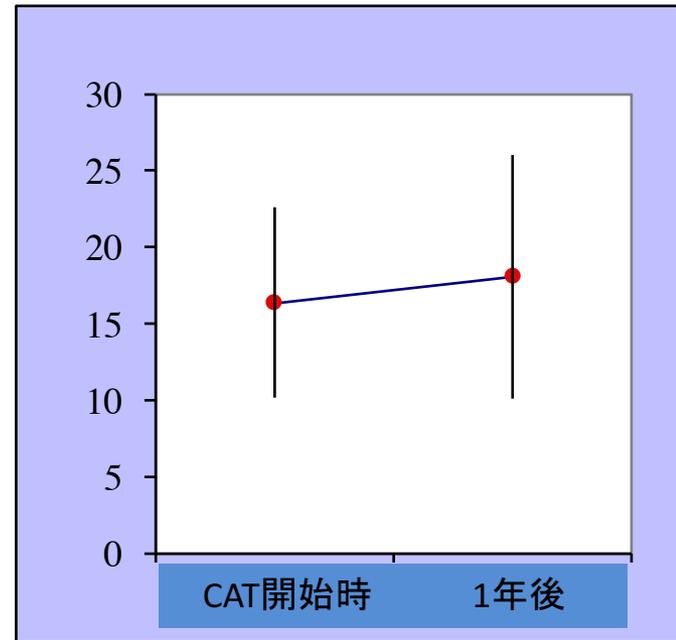
有意差なし



# HOT群におけるCAT値の変化

	平均	標準偏差
CAT開始時	16.3	6.2
1年後	18.1	8.0

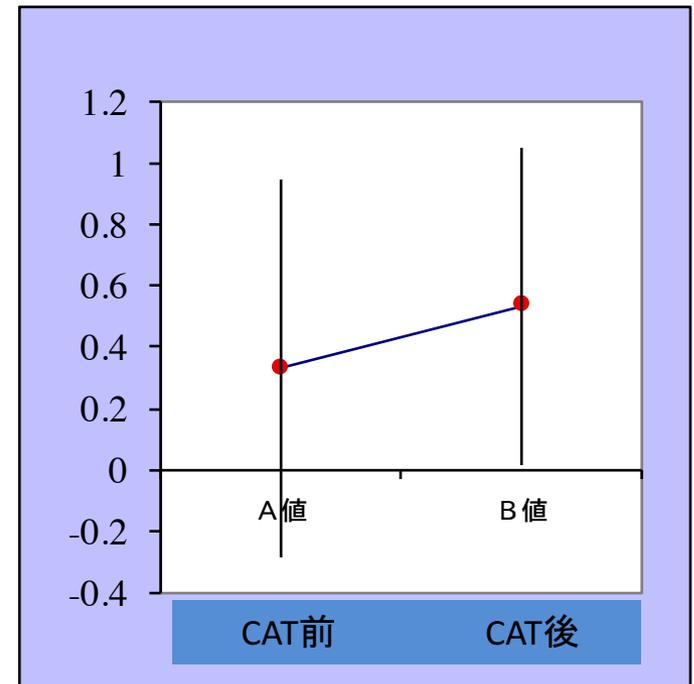
有意差なし



# 非HOT群における CAT開始前後の予定外受診回数

	平均	標準偏差
CAT前	0.33	0.61
CAT後	0.53	0.52

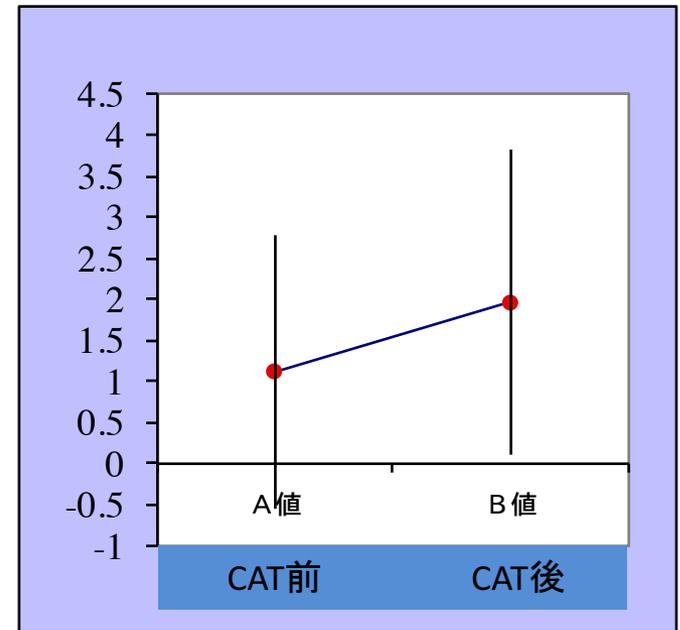
有意差なし



# HOT群における CAT開始前後の予定外受診回数

	平均	標準偏差
CAT前	1.12	1.67
CAT後	1.97	1.85

$P < 0.01$



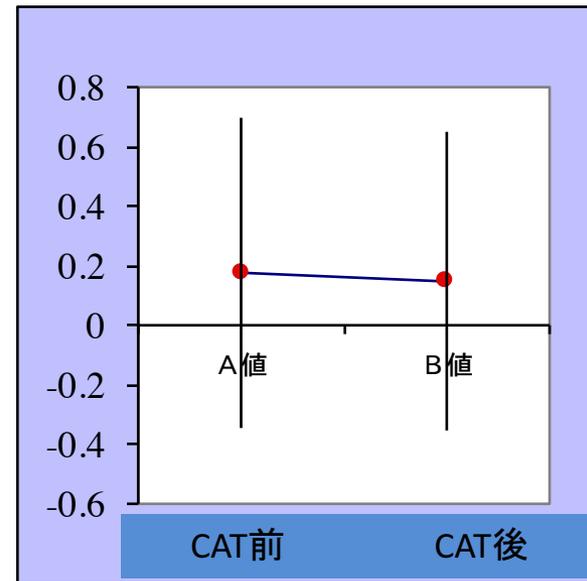
# 非HOT群における入院回数

CAT導入前後ともに入院無し

# HOT群における CAT開始前後の入院回数

	平均(実数)	標準偏差
CAT前	0.18(6)	0.52
CAT後	0.15(5)	0.50

有意差なし



- ・CAT開始後に入院回数が増加した人4名、減少した人5名。
- ・のべ入院回数は1回減少。

# 結果

HOT群ではCAT開始後定期外受診の増えた人20名 減った人7名で平均1.12回/年から1.97回/年と定期外受診が増加した( $p < 0.01$ )。一方、CAT開始前に比べ、開始後1年間で入院が増えた人4名、減った人5名で延べ入院回数には有意差は認められなかったものの1回減少した。

非HOT群ではいずれにも有意差はなかった。

# 考 察

- 今回の調査においてはHOT群において予定外の外来受診回数が増加し、入院回数は減少した。
- これは外来受診毎にCATを活用することで、体調の確認や増悪時の対応を共に振り返ることができ、患者自身が普段の安定期の状態を把握し、増悪の際に早期に対応できるようになったためと思われる。
- CATはQOL評価のみでなく、患者に悪化を見逃さないことの重要性を認識させ、自己管理能力の向上にも有用である可能性が示唆された。